

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822** ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99746703 306 G

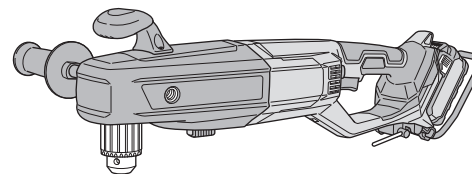
HiKOKI

取扱説明書

コードレスアングルドリル

36 V D 36DYA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



お得な情報や
ユーザー登録は
コチラから！



はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	7
用途……………	8
各部の名称……………	8
仕様……………	8
標準付属品……………	9
別売部品……………	10

使い方

サイドハンドルの取付け……………	11
蓄電池の取付け・取りはずし ……	11
チャックハンドルホルダの使い方…	11
先端工具の取付け・取りはずし …	12
スイッチについて……………	13
LEDライトについて ……	13
1充電当たりの作業量について…	13
回転数の切り替え……………	14
反力低減機構について……………	15
LEDライトの警告シグナルについて…	16
穴をあける……………	17
コアビットで穴をあける……………	19
作業上のご注意……………	21

その他

保守・点検……………	22
ご修理のときは……………	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
• 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
• 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
• だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
• 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
• 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
• 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
• 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
• 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
• コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
• 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
• 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で 사용하지 しないでください。**
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
• 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
• 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
• 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
• スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
• サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
• コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
• この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
• 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
• アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスアングルドリルについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 指定されたサイドハンドルを取付けてください。その際は、確実に固定してください。
- ③ 使用中は振り回されないように、トップハンドル、またはサイドハンドルとハンドルを両手で確実に保持してください。
- ④ プロテクタは、フックのようにつり下げ用として使用しないでください。
落下して、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、先端工具などの回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑥ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑦ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑧ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 付属品や先端工具は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ③ 使用直後のドリルチャックや先端工具、切りくずは高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体が故障する原因になります。
- ⑥ 細径のドリルは折れやすいので慎重に作業をしてください。
- ⑦ 機体で材料をたたき、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑧ LED ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ⑨ 蓄電池は確実に取付けてください。
- ⑩ 使用しないときは、正逆転ボタンを中間の位置にしてください。
予期できない作動を招いて、けがの原因になります。

⚠警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

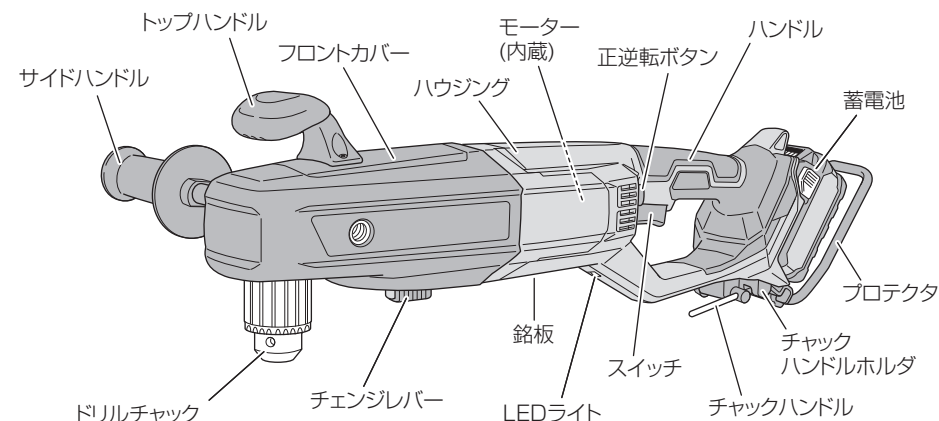
○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

用 途

- 狭所での水道・ガス・電線管等の配線を通すための穴あけ
- 木材の大径穴あけ
- 金属の穴あけ

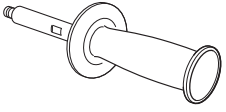
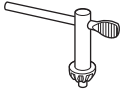
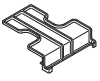
各部の名称



仕 様

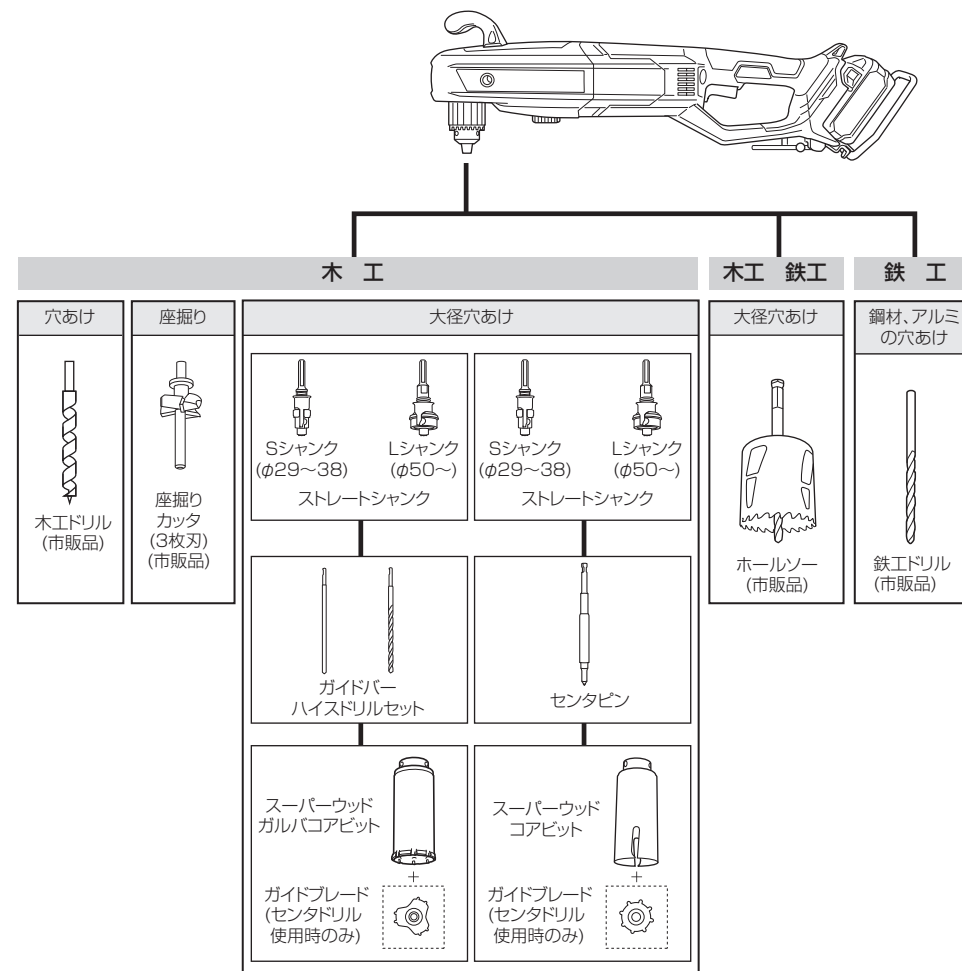
形名			D 36DYA
最大穴あけ能力	鉄工	ドリル	13 mm
	木工	ドリル	50 mm
		座掘り	65 mm
		ホールソー	159 mm
モーター			直流ブラシレスモーター
ドリルチャック			最大把握径 13 mm
無負荷回転数 [気温 20℃ 満充電時]			低速〔1〕: 0 ~ 400 min ⁻¹ { 回 / 分 } 高速〔2〕: 0 ~ 1,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }
電池電圧			36 V
使用可能蓄電池			マルチボルトタイプ蓄電池
寸法 全長 × 全高 × 全幅			646 × 198 × 95 mm [BSL 36A18X 装着時]
質量			5.7 kg [BSL 36A18X 装着時] (サイドハンドル、チャックハンドルなし)

標準付属品

品 名	仕 様	2XPZ	NN
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。		2 個 (本体装着 1、予備 1)	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
サイドハンドル 		1 個	1 個
チャックハンドル 		1 個	1 個
電池カバー 		2 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

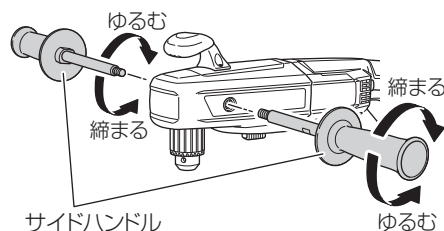
用途に応じた先端工具 (アタッチメント) を使用することで、いろいろな作業に利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。





サイドハンドルの取付け

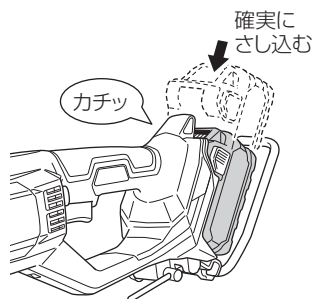
フロントカバーに直接ねじ込んで取付けてください。左右どちら側でも取付けられるので、作業に合わせて使用してください。



蓄電池の取付け・取りはずし

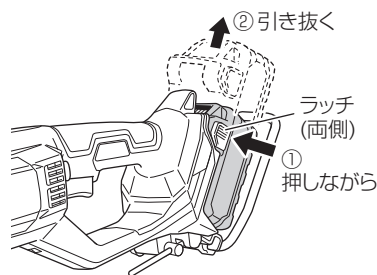
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

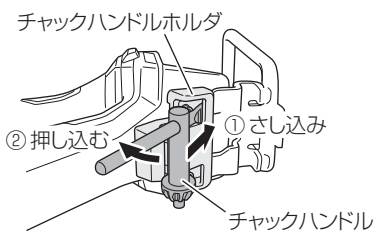


チャックハンドルホルダの使い方

チャックハンドルホルダに、チャックハンドルを収納することができます。

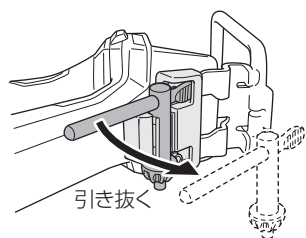
収納するとき

チャックハンドルを下図のように押し込んでください。



取りはずすとき

工具本体をしっかり支え、チャックハンドルを引き抜きます。



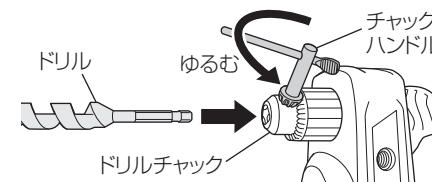
先端工具の取付け・取りはずし

⚠注意

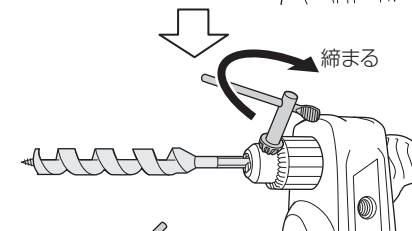
取付け・取りはずしの際、先端工具で手を傷つけないようにしてください。

取付け

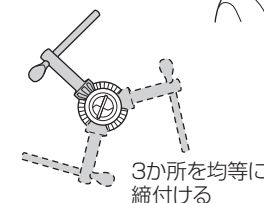
1 ドリルチャック先端の穴に先端工具を奥までさし込みます。



2 ドリルチャック外周の3か所の穴に、チャックハンドルを順に入れて先端工具を軽く締付けます。

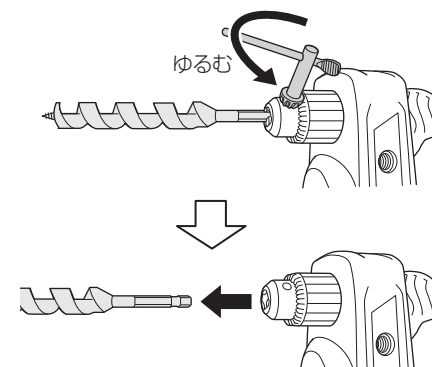


3 最後に3か所とも均等の力でしっかりと締付け、先端工具を確実に固定してください。



取りはずし

「ゆるむ」方向にチャックハンドルを回して、先端工具を取りはずします。

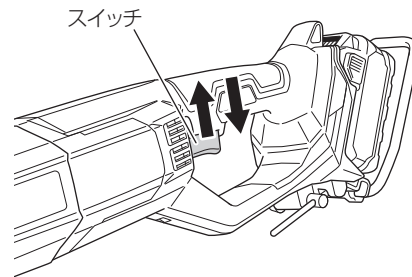


スイッチについて

スイッチの引き込み量で無段階に回転数が変わります。

ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを軽く引き、ゆっくりスタートしてください。

また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

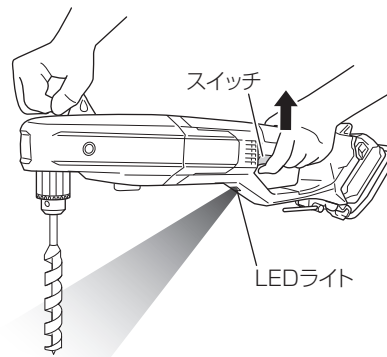


LED ライトについて

スイッチを引いている間、自動的に LED ライトが工具先端部を照らします。

スイッチから指をはなして、約 10 秒後に LED ライトは自動消灯します。

注 レンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないようにしてください。



1 充電当たりの作業量について

作業量は、使用環境、蓄電池の状態、材料のバラつきなどにより異なります。

(蓄電池 BSL 36A18X 使用時)

作業内容	材 料	取付け孔径	回転数	作業量 (穴あけ数)
木工穴あけ (座掘り)	SPF (板厚 76 mm)	φ 65	高速	約 40 個
鉄工穴あけ	SPCC (板厚 1.6 mm)	φ 8		約 250 個



回転数の切り替え

速い回転で穴あけを行いたいときは、チェンジレバーを高速〔2〕に、ゆっくりした回転で行いたいときは、低速〔1〕に回します。

注 •チェンジレバーで回転数を切り替えるときは、スイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

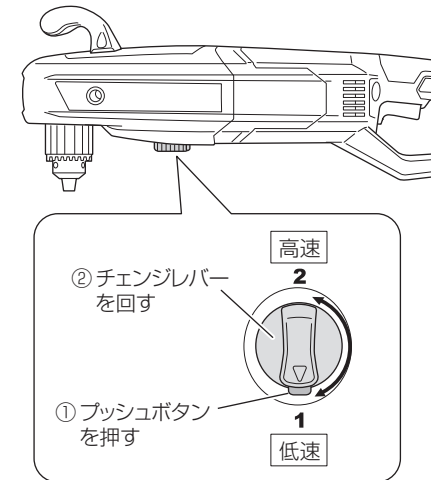
作動中にチェンジレバーを操作すると、故障の原因になります。

•チェンジレバーの操作の際は、プッシュボタンを押してチェンジレバーのロックを解除してから行ってください。

•チェンジレバーは〔1〕、または〔2〕の位置まで確実に回してください。中間位置の状態で使用すると、故障の原因になります。

•大きな力が必要な作業の場合は、チェンジレバーを〔1〕側で使用してください。無理に〔2〕側で使用すると、故障の原因になります。

•確実にロックされているか、プッシュボタンを押さないでチェンジレバーが回らないことを確認してください。



反力低減機構について

⚠警告

使用中はトップハンドル、またはサイドハンドルとハンドルを両手で確実に保持してください。

RFCやスリップクラッチ機構は、機体や使用者の不安定な姿勢、または被削材の状態(かたさや固定など)で作動しない恐れがあり、思わぬ事故の原因になります。

●RFC (リアクティブフォースコントロール)

本製品は、機体が振られてしまう現象を軽減するRFC(リアクティブフォースコントロール)が搭載されています。

急激に大きな負荷が先端工具にかかる、スリップクラッチ機構が作動する、または機体に内蔵されたコントローラがモーターを停止させ、上記現象を軽減します。

RFCが作動すると、LEDライトが点滅してお知らせします。

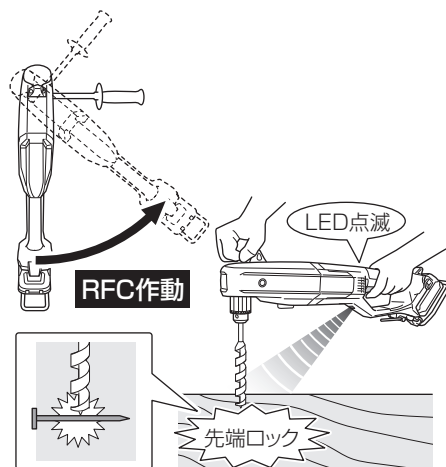
LEDライトが点滅している間は、モーターが停止します。RFCが作動した原因を取り除いてから、作業を再開してください。

急激な負荷を発生させる原因

- ① 材料による先端工具のかみ込み
 - ② 釘・金属などの接触
 - ③ 機体をこじる作業・過度な押し付け
- など、および、これらの複合的な原因があります。

RFC が作動したら…

RFCが作動してモーターが停止したときは、機体のスイッチを切り、大きな負荷となった原因を取り除いてから作業を再開してください。



●スリップクラッチ機構

この機構は、作業中の機体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターとビットの間の伝達部をスリップさせて(低速でのみ作動)、直接大きな反力がかかることを防止します。

注1: 穴あけ中に、釘等に当たり急に先端工具が止まろうとする力

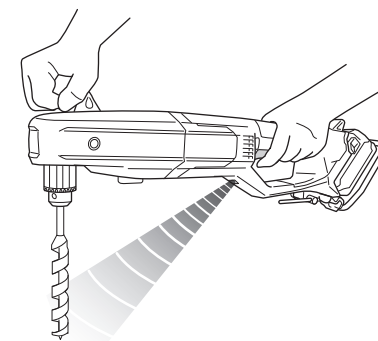
注2: 先端工具が急に止まったとき、反動で機体側が回ろうとして、持っている手がねじられる力

注 スリップクラッチが作動し、先端工具の回転が停止した場合には、速やかにスイッチを切ってください。

LED ライトの警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、LEDライトが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



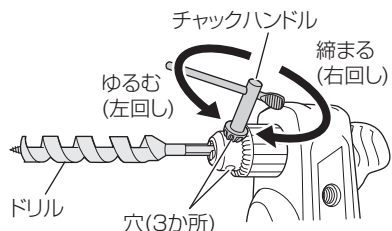
保護機能	LED ライトの表示	対処方法
過負荷保護	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 《スイッチをはなしてから約3秒点滅》	大きな負荷となった原因を取り除いてください。 チェンジレバーを〔2〕側で使用の際は、〔1〕側にして使用してください。
RFC		大きな負荷となった原因を取り除いてください。 機体が振り回されないよう確実に保持し、作業してください。
温度保護	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 《保護が作動している間点滅》	工具本体および蓄電池を十分に冷ましてください。

穴をあける

- 狭所での水道・ガス・電線管等の配線を通すための穴あけ
- 木材の大径穴あけ ●金属の穴あけ

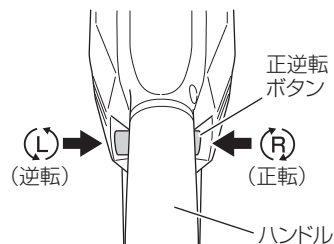
1 先端工具を取付ける

P.12「先端工具の取付け・取りはずし」を参照してください。



2 回転方向を合わせる

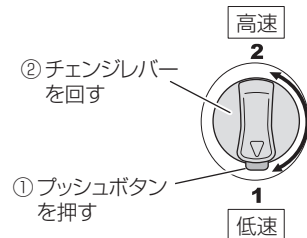
- 正逆転ボタンを押して、ねじの締付け(ゆるめ)方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。



注 作動中は正逆転ボタンの切り替えはできません。

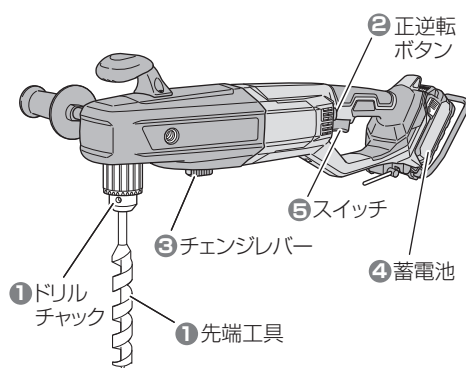
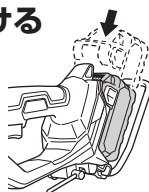
3 回転数を選択する

チェンジレバーを回して、用途に応じた回転数を選択してください。
(P.14「回転数の切り替え」参照)



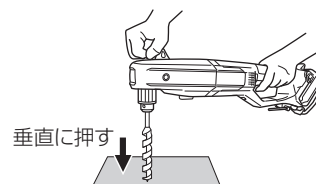
4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



5 スイッチを入れる

- 先端工具の先を穴あけ位置に当て、垂直に押します。
- スイッチの引き具合で回転数を調整してください。
(P.13「スイッチについて」参照)



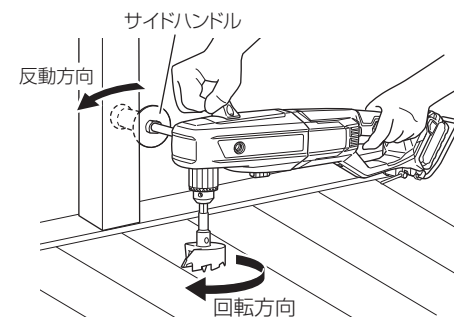
注 機体を押し付けすぎて、モーターの回転を停止させないようにしてください。
機体の故障、および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。

6 材料から先端工具を抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリルを引き抜いてください。
または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを逆転(L)側から押して再度スイッチを入れて引き抜いてください。

●穴あけ作業のコツ

サイドハンドルを柱などに当てた状態で作業すると、先端工具の回転に対する反動を容易に受けることができます。



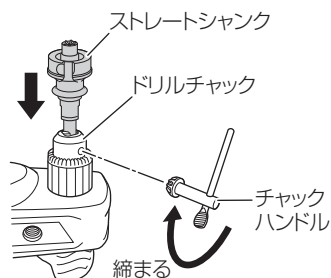
コアビットで穴をあける

木材、金属系サイディングのコア穴あけ

コアビット、センタピン、ストレートシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。
詳しい取付け方法は、それぞれのコアビットの取扱説明書を確認してください。

1 ドリルチャックに ストレートシャンクを 取付ける

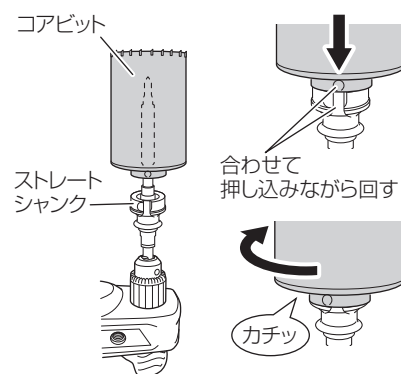
ストレートシャンクをドリルチャックにさし込み、チャックハンドルでしっかり締付けます。



- 注**
- ストレートシャンクの防じんキャップは、はずさないでください。
 - 取付け後、センタピンが抜けないことを確かめてください。

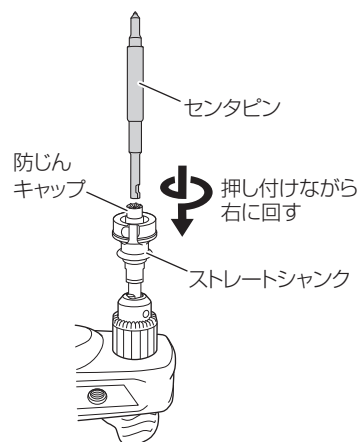
3 ストレートシャンクに コアビットを取付ける

コアビットの凹マークとストレートシャンクのさし込み位置を合わせて、押し込みながら回します。



2 ストレートシャンクに センタピンを取付ける

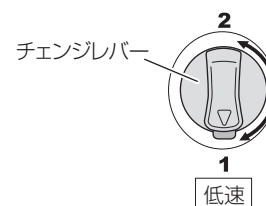
センタピンをストレートシャンクに押し付けながら、右に回します。突き当たったら軽く引いて、抜けないことを確認してください。



4 正逆転ボタンを(Ⓐ)側から 押し正回転にする

中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。
(P.17「穴をあける」②参照)

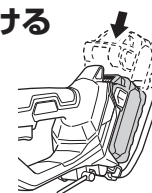
5 回転数を低速(1)にする



(P.14「回転数の切り替え」参照)

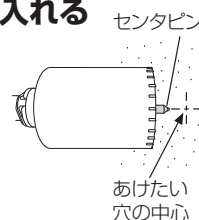
6 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



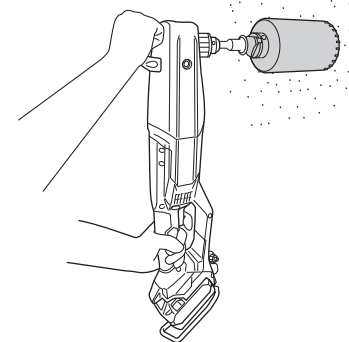
7 スイッチを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせます。



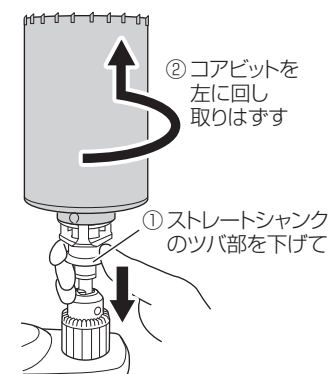
8 位置決めの完成

- 約 5 mm 穿孔すると、位置決めの溝が完成します。
コアビットからセンタピンを取りはずします。
- 完成した位置決めの溝にコアビットを合わせて、穴あけを再開します。
- スイッチの引き具合で回転数を調整してください。



9 コアビットを取りはずす

ストレートシャンクのツバ部を下げて、コアビットを左に回します。



作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷ましてください。温度が下がれば再び使用することができます。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にコードレス工具本体を15分程度休ませてから使用してください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●変速スイッチについて

スイッチには、回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。

スイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）でモーターを停止させる作業を連続的に行うと、電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

機体を両手で確実に保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。

先端工具にこじめる力や押し付ける力が過度にかけると、機体が故障する原因になります。

●ホールソーを使用する場合

ホールソーで穴をあける場合は、太径になるほど普通の鉄工錐で穴をあけるとときよりも大きな反発が腕にかかります。

反発で振り回されないように、しっかりした足場で、両手で確実に保持して、穴あけ材に対して垂直に穴をあけてください。

無理に押し付けたり、こじったりすると反発で振り回されることがあり、ホールソーの刃先を傷めたりけがの原因になります。

●突き抜け穴をあける場合

穴の抜けぎわに錐やホールソーを折ったり、振り回されたりすることがあります。穴の抜けぎわに押す力をゆるめてください。

保守・点検

●先端工具の点検



摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

●機体の点検



各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部の点検



工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する



機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所